

平成27年度 事業別予算概要

事業名	20510	広報広聴事業費	会計	1	一般会計	基本目標	6	みんなでつくる持続可能なまち	根拠計画	市長公約	開かれた市政の強化に積極的に取り組み、「市民の皆さまの思いと声」を市政に活かします
	種別			2	総務費		6	協働・行政			
担当課	企画管理部 企画課		予算	項	1	総務管理費	分野	1	協働	実施計画事業	広報広聴事業
		内線		目	5	広報費		H27実施計画額	千円		
		2468									

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 全市民	どうしたいのか (意図)	・市民生活に役立つ情報や必要な情報を容易に得ることができる ・市政運営への理解を深め、行政との信頼関係が構築されている ・市政に対する意見を容易に述べるができる	概要	事業の実施手法(手段)	・「広報たかやま」、地域FM放送により各種行政情報を提供する ・CATVの自主放送番組により各種行政情報を提供する ・「市民と市長の対話集会」を開催し、直接市民の声を聴く ・政策検討市民委員会を開催し、市政への提案・提言を受ける
	対象者数	91,605 人				

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	<ul style="list-style-type: none"> 「広報たかやま」を毎月1日・15日に発行し、新聞折込や戸別配布により全世帯に配布 地域FM放送にて地域情報・行政情報・緊急情報等を制作・放送 CATVの自主放送チャンネルにて「ハイ、市役所です」、「週刊高山ニュース」のほか行政情報番組を制作・放送 連合町内会単位で市民と市長の対話集会を開催(10~12月) 政策検討市民委員会を開催 						
	指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
成果指標	政策検討市民委員会からの提案・提言数	件	目標値	-	-	-	-
	算出根拠等		実績(見込)	15	11	10	
活動指標	FMラジオ放送回数	回	目標値	4,320	3,330	3,330	3,330
	算出根拠等		実績(見込)	4,420	3,606	4,531	
活動指標	CATV放送本数	本	目標値		180	180	180
	算出根拠等		実績(見込)	216	194	187	
活動指標	市民と市長の対話集会の開催回数	回	目標値	21	21	21	21
	算出根拠等		実績(見込)	21	21	1	
成果指標	市民と市長の対話集会への参加者	人	目標値		1,000	1,000	1,000
	算出根拠等		実績(見込)	773	736	16	
成果指標	市民と市長の対話集会での意見数	回	目標値		350	350	350
	算出根拠等		実績(見込)	297	386	34	
補足	<ul style="list-style-type: none"> 様々な情報提供媒体を活用し、それぞれの特性を活かした効果的な行政情報の提供を行っている 市民と市長の対話集会や政策検討市民委員会の開催をはじめ、様々な手法で市民の意見を聴く機会の充実を図っている 市民参加条例を制定し、市民の市政への参加を推進している 						

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度実施した総合計画アンケート「広報活動について」により把握した市民ニーズに対応するとともに、市民がどのような情報をどのような形で得ることを望んでいるのかを詳細に捉えることにより、さらに情報提供の充実を図ることが可能となる 広報広聴については、事業担当課と一層の連携を図りながら、提供情報や市民の意見を聴く機会の充実を図っていく必要がある
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 情報提供の充実(新鮮、わかりやすい、親しみやすいなど)を図るため、CATV、ラジオにおいて生放送枠を設け、鮮度の高い情報を提供するとともに市民が参加できる体制を構築。また、CATVにおいては、ジュニアアナウンサーを募集し興味を持って視聴してもらえる番組作りを行う 市民参加条例に基づき、市民の市政への参加を推進する 	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き時代や市民ニーズにあった広報の手法について検討していく 一層の市民の声を聴く機会の充実を図る
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	92,900	92,453	95,624	95,624
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,000	1,004	1,044	1,044
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	92,861	92,097	91,605

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 広報紙やラジオ、CATVなどの媒体を利用し、市政情報を市民に提供する 「広報たかやま」の発行 ラジオ番組の制作・放送 ケーブルテレビ番組の制作・放送 市民が市政に対する意見を容易に述べられる機会を設ける 市民と市長の対話集会の開催 政策検討市民委員会の開催 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 市民が知りたい情報を迅速に得られるよう、広報紙やラジオ、CATVなどあらゆる媒体から情報発信するための経費を計上 FMやCATVの市政番組については、鮮度の高い情報を提供するとともに、市民が参加できる内容とするために、引き続き生放送による情報発信を実施 市民と市長の対話集会や政策検討市民委員会など、市民の意見を聴く機会の充実に必要な経費を計上 	事業実施の課題	・事業担当課と連携した更なる市政情報提供(内容、手段)の充実
------	--	---------	--	---------	--------------------------------

事業費(人件費除く)	H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	95,624	95,624	0	95,574	95,574	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他	280	280	0	280	280		
一般財源	95,344	95,344	0	95,294	95,294		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	20900	総合計画推進事業費	会計	1	一般会計	基本目標	6	みんなでつくる持続可能なまち	根拠計画	市長公約	高山市と協定を結んでいる大学などとの連携を強化しながら、希望する誰もが、高山市で大学の授業が受けられるサテライトキャンパスの設置に取り組みます。また、将来的には、遊休施設などを活用した大学誘致を目指します。
	種別			2	総務費		6	協働・行政			
担当課	企画管理部 企画課	内線	予算	項	1	総務管理費	3	行財政運営	実施計画事業	総合計画推進事業	
				2442	目	9	企画費	H27実施計画額	千円		

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 全市民	どうしたいのか (意図)	<ul style="list-style-type: none"> 総合計画に基づき計画的な行政運営がなされている 年齢、性別、障がいの有無などに問わず、誰もが安心して暮らせる環境が整っている 自治体連携や大学連携などを活かした行政サービスが提供されている 	概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> 事業評価及び施策評価による総合計画の進捗管理、評価検証に基づく計画の見直し ユニバーサルデザインに配慮して整備された施設やサービスを提供する事業者の認定 大学との連携の推進、飛騨・世界生活文化センター活用推進協議会や飛騨地域広域行政協議会等への参画
	対象者数	91,605 人				

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	<ul style="list-style-type: none"> 事業評価・施策評価の実施及び公表、市民・団体アンケートの実施、施策立案に係る有識者会議の開催 ユニバーサルデザインに配慮して整備された施設の認定 飛騨地域広域行政協議会の開催、飛騨・世界生活文化センター活用推進協議会への参画 等 						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	総合計画実施計画の追加・見直し事業数	事業	目標値				
算出根拠等			実績(見込)	27	19		
達成率(%)							
活動指標	事業評価の実施対象事業数	事業	目標値				
	実績(見込)			771	749	719	
算出根拠等			達成率(%)				
成果指標	建築確認における新バリアフリー法への適合件数のうち、誰にもやさしいまちづくり条例に基づき審査対象を拡大したものの	件	目標値				
	実績(見込)			11	12	10	
算出根拠等			達成率(%)				
成果指標	誰にもやさしいまちづくり条例認定件数(累計)	件	目標値				
	実績(見込)			38	43	47	
算出根拠等			達成率(%)				
活動指標	飛騨・世界生活文化センター活用推進協議会主催事業件数	件	目標値	7	7	7	6
	実績(見込)			7	7	7	
算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	
成果指標	飛騨・世界生活文化センター活用推進協議会主催事業への参加人数・来場者数	人	目標値	46,000	47,000	47,000	50,000
	実績(見込)			47,428	56,778	55,864	
算出根拠等			達成率(%)	103	121	119	
補足	誰にもやさしいまちづくり条例に基づき、庁内関係各課において、ユニバーサルデザインに配慮した各種施策が実施されている						

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 総合計画の中に施策や事業の評価・検証を行いやすい仕組みを盛り込む必要がある 効率的な施策評価・事業評価を実施する必要がある 誰にもやさしいまちづくりの推進に向け、普及啓発の手法を充実させる必要がある 大学連携について、さらなる充実を図る必要がある 各自治体間の連携について、さらに効果的な手法を検討する必要がある
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 第八次総合計画の基本計画素案において、「目指す姿」として各分野の目標を明確化するとともに、その目標の達成状況を図る物差しとして「まちづくり指標」及び「市民満足度指標」を設定し、後に評価検証を行える仕組みを取り入れている 誰にもやさしいまちづくりをさらにすすめる上での課題等について、道路整備、建築指導、福祉等の所管課と協議を実施している 誰にもやさしいまちづくり推進指針の見直しについて検討している 大学連携の充実について検討している 	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	維持・改善
	○ 拡大	第八次総合計画に掲げる各施策を着実に推進できるよう進捗把握を行う
	○ 縮小	誰にもやさしいまちづくり条例制定からこれまでの取り組みについて総括し、新たな視点での取り組みについて検討する
	○ 廃止検討	引き続き、庁内各部署とともに、大学連携事業の充実を図る
二次評価	○ 維持・改善	各自治体間の連携について、連絡調整体制を強化し、広域的課題を解決するための効果的な手法を検討する
	○ 拡大	(担当課評価に同じ)
	○ 縮小	
	○ 廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	9,825	19,975	12,021	10,114
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	106	217	131	110
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	92,861	92,097	91,605

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 総合計画審議会の開催 実施計画ローリング、施策評価及び事業評価の実施 誰にもやさしいまちづくり推進会議の開催 飛騨・世界生活文化センターの活用推進 協定締結大学との連携事業の推進 	要求のポイント	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> 効率的な施策評価・事業評価の実施 誰にもやさしいまちづくりをさらに推進するための新たな取り組み 各自治体とのさらなる効果的な連携手法の検討 大学連携の内容のさらなる充実
------	---	---------	---------	---

事業費(人件費除く)	H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	12,021	10,114	△ 1,907	10,000	10,000	積算内容を精査	財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	12,021	10,114	△ 1,907	10,000	10,000		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	21410	情報施設整備事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	5	安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画	情報化計画	市長公約	CATV(ケーブルテレビ)の普及促進、Wi-Fi環境や公衆無線LANの整備・充実を進め、誰もが情報や行政サービスを気軽に得ることができる環境を構築します。
	種別			2	総務費	5		基盤・安全	実施計画事業		情報施設整備事業費		
担当課	企画管理部 企画課		2444	項	1	総務管理費	分野	6	情報	H27実施計画額	千円		
	内線			目	14	情報化推進費	施策概要	1	地域情報格差の解消				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民	どうしたいのか(意図)	地域に適した情報通信基盤の整備を行い、ブロードバンドインフラや地上デジタル放送等を市内全域で享受できる環境の実現を目指す。	概要	事業の実施手法(手段)	民間事業者による情報通信基盤整備に対し補助することにより促進する。 ・民間CATV事業者によるCATV事業の展開 ・共聴組合によるテレビ共同受信施設の整備
	対象者数	91,605 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	・共聴組合によるテレビ共同受信施設の整備 5件							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	活動指標	情報通信基盤整備補助件数	件	目標値	1	5	1	1
				実績(見込)	3	5	1	
	算出根拠等			達成率(%)	300	100	100	
	成果指標	辺地共聴施設地デジ対応件数	件	目標値	113	116	116	
				実績(見込)	109	114	116	
	算出根拠等			達成率(%)	96	98	100	
	活動指標	CATVエリアカバー率	%	目標値	100	100	100	
				実績(見込)	88	88	93	
	算出根拠等			達成率(%)	88	88	93	
				目標値				
				実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	・CATV未整備地域について、情報通信基盤の整備に対して支援することによりCATVサービスの地域格差解消を図る。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	・CATV未整備地域について、情報通信基盤の整備に対して支援することによりCATVサービスの地域格差解消を図る。
	拡大	
	縮小	
	○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
○ 廃止検討		

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 6,825	42,312	500,000	267,420
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 525,000	187,221	101,338	35,373
	受益者	(B) 13	226	4,934	7,560

5 予算編成(Action2)

事業内容	・CATV未整備地域を解消するための情報通信基盤の整備に対して支援することにより、CATVサービスの地域格差解消を図る。(整備期間:H26年度~H27年度) ・市施設のCATV加入を図る。	要求のポイント	・CATV事業者が行うCATV未整備地域の光ケーブル幹線にかかる初期整備費に対する支援 ・市施設のCATV加入にかかる初期費用	事業実施の課題	・市域全体でのCATV加入者促進が必要
------	---	---------	--	---------	---------------------

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		500,000	267,420	△ 232,580	270,300	270,300	・積算内容を精査 ・指定避難所へのWi-Fi環境整備に要する経費を計上	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	500,000	265,390	△ 234,610	270,300	270,300		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	25100	統計調査事務費	会計	1	一般会計	基本目標	6	みんなでつくる持続可能なまち	根拠計画		市長公約
	種別			2	総務費		6	協働・行政			
担当課	企画管理部 企画課		予算	項	5	統計調査費	3	行財政運営	実施計画事業	統計調査事業	
				内線	1	統計調査総務費	1	効率的・効果的な行政運営の推進	H27実施計画額		千円

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・統計的視点から市の現状を理解する ・統計調査結果を研究活動等様々な分野で活用する ・政策立案の基礎となる統計調査業務の円滑化を図る	概要	事業の実施手法(手段)	・統計調査に従事する調査員を確保するとともに、調査員の資質向上のための研修を実施する ・各種統計における高山市の数値を取りまとめ、「高山市のあらし」として公表する
	対象者数	91,605 人					

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H25実績	<ul style="list-style-type: none"> ・統計調査員の確保 ・統計調査員研修会の開催 ・「高山市のあらし」の印刷・発行、市ホームページでの公表 ・「高山市のあらし」の掲載項目の見直し 						
	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
		「高山市のあらし」の発行回数	回	目標値	1	1	1	1
	算出根拠等		実績(見込)	1	1	1		
	達成率(%)	100	100	100				
	活動指標	「高山市のあらし」の発行部数	部	目標値	150	150	150	150
		算出根拠等		実績(見込)	150	150	150	
	達成率(%)	100	100	100				
	活動指標	統計調査員確保数	人	目標値	70	128	358	573
		算出根拠等		実績(見込)	70	128	358	
達成率(%)	100	100	100					
活動指標	統計調査員研修会実施回数	回	目標値	1	1	1	1	
	算出根拠等		実績(見込)	1	1	1		
達成率(%)	100	100	100					
補足			目標値					
			実績(見込)					
達成率(%)								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・「高山市のあらし」については、さらに見やすくわかりやすくするよう工夫する必要がある
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	・「高山市のあらし」について、掲載項目等の検討を行っている	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	・統計調査業務を円滑に実施するため、引き続き統計調査員を対象とした研修を実施する ・「高山市のあらし」を引き続き発行するなかで、さらに見やすくわかりやすくするよう工夫する (担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	117	116	140	160
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1	1	2	2
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	92,861	92,097	91,605

5 予算編成(Action2)

事業内容	統計調査業務の円滑な遂行を図る 各種統計調査結果を取りまとめ分析し、行政運営や施策の立案に必要な基礎資料を得る ・「高山市のあらし」発行 ・統計調査員確保対策事業(統計調査員の資質向上のための研修会開催等)の実施	要求のポイント	・円滑な統計調査業務の実施や「高山市のあらし」発行に必要な経費を計上	事業実施の課題	・調査結果のさらなる有効活用
------	---	---------	------------------------------------	---------	----------------

事業費(人件費除く)	H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	140	160	20	140	140	積算内容を精査し、前年度並み事業費とする	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金	27	27	0	27	27		
その他			0				
一般財源	113	133	20	113	113		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	25300	国勢調査事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本目標	6	みんなでつくる持続可能なまち	根拠計画	市長公約
	種別			款	2	総務費		基本分野	6	協働・行政		
担当課	企画管理部 企画課		内線	項	5	統計調査費	施策概要	分野	3	行財政運営	実施計画事業	統計調査事業
	2436			目	2	国勢調査費		H27実施計画額	千円			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	人口実態を把握し、各種行政施策その他の基礎資料を得るため、全世帯を対象とした調査を実施する。	概要	事業の実施手法(手段)	国勢調査事務を受託し、滞りなく実施する。
	対象者数	91,605 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	指標名	単位	目標・実績			
			H24	H25	H26	H27
成果面	算出根拠等		目標値			
			実績(見込)			
			達成率(%)			
	算出根拠等		目標値			
			実績(見込)			
			達成率(%)			
	算出根拠等		目標値			
			実績(見込)			
			達成率(%)			
	算出根拠等		目標値			
			実績(見込)			
			達成率(%)			
算出根拠等		目標値				
		実績(見込)				
		達成率(%)				
算出根拠等		目標値				
		実績(見込)				
		達成率(%)				
算出根拠等		目標値				
		実績(見込)				
		達成率(%)				
補足						

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況		
次年度の 実施方針	一次評価	維持・改善
		拡大
		縮小
	二次評価	廃止検討
		維持・改善
		縮小

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	0	0	0	41,040
受益者1件当たり(円)	(A/B)	0	0	0	448	
受益者	市民(4月1日現在)	(B)	92,861	92,097	91,605	91,605

5 予算編成(Action2)

事業内容	国勢調査の実施 ・対象 全世帯 ・基準日 H27.10.1	要求のポイント	・国勢調査業務の円滑な実施に必要な経費を計上	事業実施の課題	・国勢調査の十分な実施体制の構築
------	-------------------------------------	---------	------------------------	---------	------------------

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	0	41,040	41,040	37,000	37,000	積算内容を精査	・財務部査定のとおり
	国庫支出金			0				
	県支出金		41,040	41,040	37,000	37,000		
	その他			0				
	一般財源	0	0	0	0	0		